
貧酸素情報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年 9月18日(水)

鹿児島湾 貧酸素情報 No.2

[1] 9月17日の調査結果

(1) 貧酸素水塊の状況

鹿児島湾奥部の牛根境、福山沖、隼人沖、湾奥中央の水深20m層以深では、溶存酸素量が4.0mg/lを下回っていました(下図参照)。

(2) 赤潮生物の出現状況

湾奥部全域で珪藻類が多い状況でした。また調査全域で渦鞭毛藻類の P 00セトヲ属(コブレッツリ, シゲイデス)を6~67cells/ml確認しました。

有害種は、 H 10ツマ A ツガが2ヶ所で各1cell/ml確認されましたが、 S ヤナリ M リナは確認されませんでした。

(3) 海況

表層水温は、湾奥部で27.5~28.1℃と平年同時期並み、また、塩分については31.6~32.3、透明度は5.0~9.0mとともに平年同時期よりやや高めとなっています。

水温：湾奥部平均 27.8℃ (平年値 28.0℃)

塩分：湾奥部平均 32.0 (平年値 30.9)

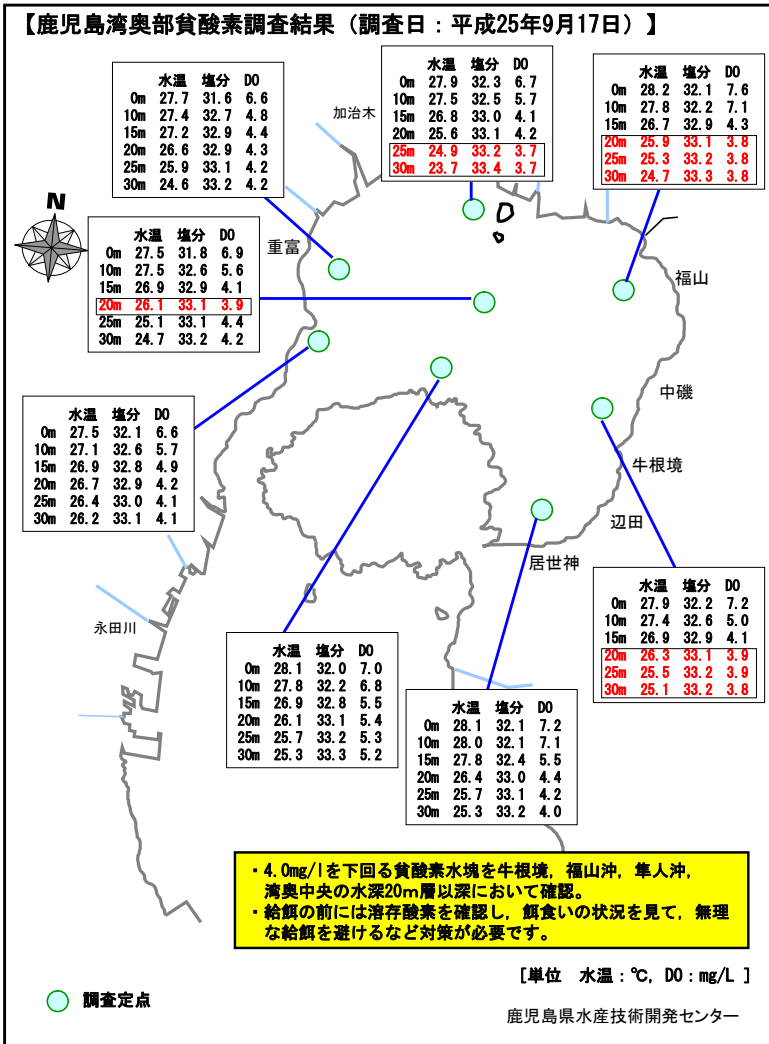
透明度：湾奥部平均 7.9m (平年値 6.5m)

(平年値は平成15~24年の9月の平均値)

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

今回の調査では、4ヶ所の20m層以深で溶存酸素量が4.0mg/lを下回っていました。

今後、表層水温の降下によって起こる鉛直循環が活発となる10月下旬までは、中層付近で貧酸素状況が発生して継続する可能性があると思われます。



(注意事項)

- ・ 給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- ・ 過去、溶存酸素が4.0mg/lを下回った状況での給餌で、 H い死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- ・ 給餌の前には、必ず溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けた方がよいでしょう。

赤潮情報(携帯電話)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>
 赤潮情報(パソコン)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>